

平成28年度「子ども大学かぞ」

高野 千春

「子ども大学」とは、地域の大学や企業・NPO、市町村、県が連携して、子供の学ぶ力や生きる力を育むとともに、地域で地域の子供を育てる仕組みを創るための取り組みである。ものごとの原理やしくみを追求する「はてな学」、地域を知り郷土を愛する心を育てる「ふるさと学」、自分を見つめ人生や将来について考える「生き方学」の3つの分野を基本に、大学教授や地域の専門家等が

講師となり、子供の知的好奇心を刺激する講義や体験活動を行っている。

平成国際大学も埼玉県、加須市、加須青年会議所と連携し、平成26年度より市内の小学4年生から6年生を対象とした「子ども大学かぞ」を開校しているが、今年度は以下のようなプログラムで実施された。

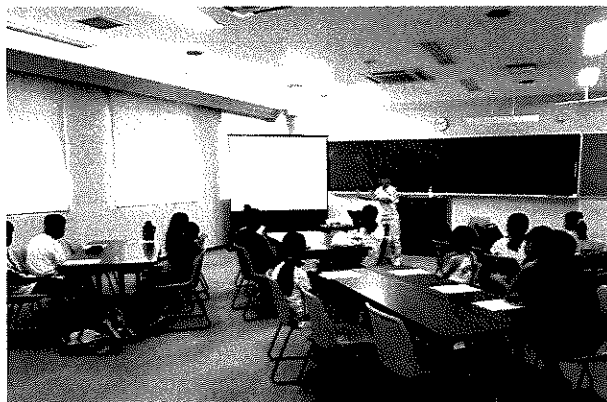
	日時	講義内容	会場
第1回	8月20日(土) 9:30～11:30	入学式	平成国際大学
		○弁護士さんと語る会 平成国際大学 中島教授 埼玉弁護士会 弁護士 (生き方学)	
第2回	8月28日(日) 10:00～11:30	○こんにちは！よろしくね！ ～子ども大学の仲間とお友だちになろう～ 平成国際大学 高野准教授 (はてな学)	平成国際大学
第3回	9月10日(土) 9:30～11:30	○チャレンジ探検隊 ～バリアフリーを考えよう～ 社会福祉協議会 (生き方学)	加須駅～市民プラザかぞ
第4回	10月1日(土) 13:30～16:00	○秋の加須市でアートしよう 加須青年会議所 (ふるさと学)	不動岡コミュニティーセンター
第5回	10月15日(日) 9:30～13:30	○加須名物「手打ちうどん」をつくろう (昼食も含む) (ふるさと学)	加須げんきプラザ
		修了式	

今年は縁あって、オリンピック・パラリンピック開催中リオデジャネイロに開設された「Tokyo 2020 JAPAN HOUSE」のスポーツ庁ブース運営スタッフとして、現地で様々なスポーツ・レクリエーションを提供する機会をいただいた。そこで、今回の講義はこの貴重な体験を活かし、子どもたちが世界中にいろいろな価値観があること、パラリンピック（障がい者スポーツ）の面白さに気づくことをねらいとして、これまでと同様に参加者同士が交流できるグループワークを行った。

前半は現地で撮影した写真や映像を示しながら、私が感じたブラジル人の魅力と日本人の魅力について語り、子どもたちの感想を共有した。後半は、パラリンピック正式種目で唯一重度障害者が参加できる「ボッチャ」を、グループ対抗で楽しんだ。

一見地味に見える競技だがその技術・戦術は奥が深く、スーパープレイを映像で見て、実際にプレーをしながらルールや得点方法を理解していくうちに、子どもたちの笑顔や声援とともに自然とチームで協力する姿が見られるようになった。「障がい者スポーツ」としてではなく、誰でも楽しめる「生涯スポーツ」として、子ども達がボッチャを楽しんでいた。

この後、10月29日、30日の大学祭でもボッチャ体験コーナーを実施したが、子ども大学かぞでの体験が楽しかったからと、家族や友人を誘って大学祭に足を運んでくれた受講生が何人もいたことは、大変うれしい限りである。



リオデジャネイロの話真剣に聞く



どっちのチームが勝ちかな？



ボッチャのゲームを楽しむ